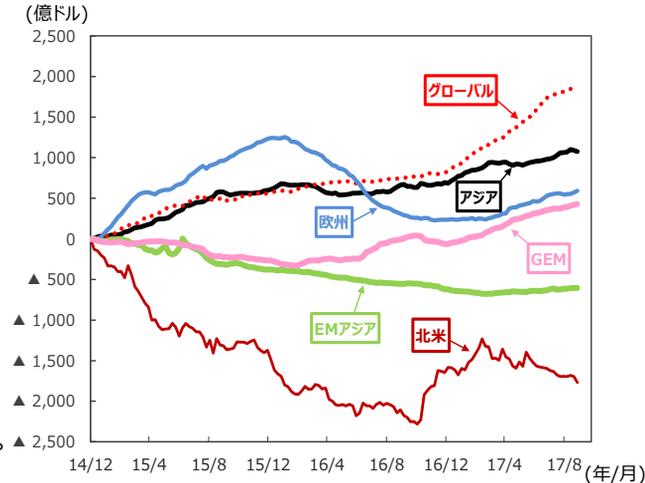


今日のトピック 世界の「投信マネー」 北米債券、新興国債券への流入が継続

株式流入超過額は再び100億ドル台

- EPFRグローバル(注1)で世界の「投信マネー」の17年9月の資金フロー動向を見ると、株式ファンドは132億ドル（前月97億ドル）と再び100億ドル台の流入超となりました。債券ファンドも296億ドルと前月（同266億ドル）より流入超過額が若干増加しました。
- 株式ファンドは、先進国全般に投資する「グローバル」が85億ドル（前月65億ドル）の流入超となる一方、「欧州」が47億ドル（前月▲0.2億ドル）の流入超に転じました。「新興国アジア（EMアジア）(注4)」は8億ドルと前月（6億ドル）同様小幅な流入超にとどまりました。「北米」の流出超過額は▲78億ドル（前月▲70億ドル）でした。

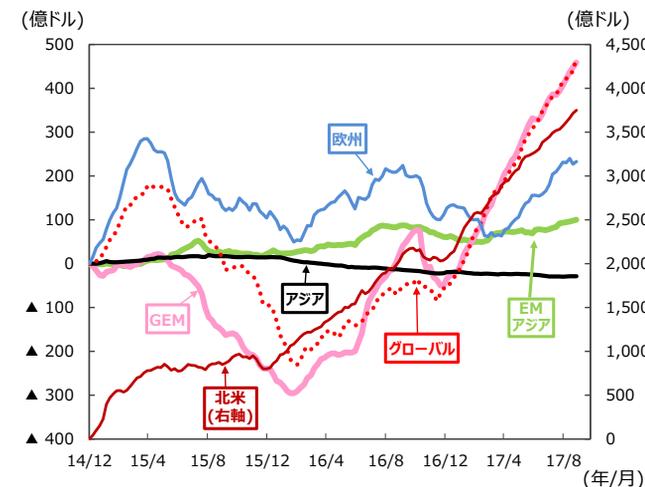
【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



債券は欧州の流入超過額が大幅減

- 債券ファンドは「北米」中心の流入超に変化はありません（179億ドル）。
- 「欧州」は2億ドルの流入超と前月（51億ドル）より大幅に減少しました。「欧州」株式が47億ドルの流入超となっていることから、ユーロ高が一服したことや欧州中央銀行（ECB）による量的緩和の縮小の発表を控えて、債券から株式へシフトしたと考えられます。
- 新興国への流入超過額は、61億ドル（前月43億ドル）でした。「EMアジア」の流入超過額は7億ドル（前月15億ドル）にとどまりましたが、新興国全般に投資する「GEM(注5)」への流入超過額が52億ドル（前月30億ドル）に拡大しました。

【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



潤沢な流動性は北米や新興国の債券へ

- 欧州、米国ともに金融政策の正常化がゆっくりと進むと見られる中、潤沢な流動性は概ね維持される見通しです。安全性の高い北米債券、経済が良好で物価が落ち着いている新興国債券への資金流入が当面続きそうです。

(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年8月末現在30.2兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2014年12月～2017年9月。週次ベース。2014年12月からの累計。
 (注3) 「アジア」は豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール、日本。
 (注4) 「新興国アジア（EMアジア）」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
 (注5) 「GEM」はGlobal Emerging Markets（世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称）。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年9月21日 米国の金融政策（2017年9月）
2017年9月 8日 ECBの金融政策（2017年9月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。